

KIFU COFFEE JOURNAL

July 2025

No.03

寄付アクションのその先



手にしているのは、インスリンペン型注入器と持続血糖測定器

KIFU COFFEEを通して、寄付アクションにご参加いただきましてありがとうございます。

KIFU COFFEEの寄付額だけではなく、寄付のその先と一緒に知り、共有できる機会があればと思います、2025年はJOURNALという形でお届けします。

ぜひコーヒーを飲みながら読んでいただけたら嬉しいです。今月は1型糖尿病の患者とそのご家族を支援する「認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク」のその先をお届けします。

1型糖尿病とは？

1型糖尿病は、主に自己免疫によっておこり、自分の体のリンパ球があやまって内乱を起こし、自身のインスリンをつくる膵臓の膵島β細胞の大部分を破壊してしまうことで発病します。自分の体の中でインスリンを作ることができなくなり、ブドウ糖（グルコース）を細胞に取り込めず、高血糖となります。高血糖状態が続くと、糖尿病特有の合併症につながります。

1型糖尿病は生活習慣病や先天性の病気ではなく、過去のウイルス感染がきっかけの場合が多く、1型糖尿病が他人にうつることはありません。

治療方法は、膵臓移植や膵島移植か、生涯にわたって血糖測定をし、毎日数回のインスリン自己注射やインスリンポンプと呼ばれる医療機器による注入を続ける以外にありません。糖尿病患者の9割以上を占める2型糖尿病と異なり、インスリンの補充が必要不可欠な病気です。

日本人の子どもの年間発症率は、約10万人あたり2人。小児期を中心にとんな年代にも起こる原因不明の難病であり、正しい管理を行わないと心臓、腎臓、眼、神経等の合併症が併発するため、患者や患者家族は様々な課題と向き合っています。

日本IDDMネットワークの取り組みについて

1型糖尿病は現在の医学では「治らない」病気であり、1型糖尿病患者・家族はその宣告により絶望してしまいます。そんな患者や家族に「治るよ」と言えるように、医学・医療の現場では、根治を目指した研究が日々行われています。根治に向けた研究は、患者や家族にとっての希望です。

日本IDDMネットワークでは、1型糖尿病研究基金を設立し、1型糖尿病の根絶（＝根治＋治療＋予防）を目指す研究の継続・促進を目的として研究費助成を行っています。



再生医療での根治を目指す徳島大学病院 消化器・移植外科チーム

一発足された1995年から時代も大きく変わる中、糖尿病、1型糖尿病の患者様を取り巻く環境についてどのように感じていますか？－

1995年当時と比べると、医療の進歩はもちろん、1型糖尿病に対する社会の理解も少しずつ広がってきました。インスリン注射の代わりに体に装着して使う「インスリンポンプ」や、血糖値をリアルタイムで測れる機器の登場は、患者の日常生活に大きな変化をもたらしています。一方で、高額な医療費負担や就学・就労における課題、周囲の理解不足など、まだまだ解決すべき問題も残っています。また、治療の進化によって患者が長く生きられるようになり「高齢患者」への対応が重要な課題となっています。

一活動がスタートして、大きく変わったことを教えてください。－

1型糖尿病は現在治らない病気ですが、1型糖尿病の根治に向けた研究が日本国内でも着実に進んでいるということです。日本IDDMネットワークでは、2005年に1型糖尿病研究基金を設立し、これまで多くの研究者の挑戦を応援してきました（2025年6月末時点で172件、約9.2億円）。その中には、実際に治験段階に進んだプロジェクトもあり、治らないと言われてきたこの病気の未来が、少しずつ変わり始めています。こうした研究が前進できたのも、支援者の皆さんや患者・家族の想いがあるからこそだと感じています。

一子どもたちに発症するケースも多い1型糖尿病ですが、そんな子どもたちに私たちにできることがあるとするならどんなことだと思いますか？－

一番大切なのは、「病気があってもその子らしく生きられる社会」を一緒に育てていくことだと思います。学校や地域での理解、周囲のさりげない配慮やサポートが、子どもたちにとって大きな支えになります。また、この病気について正しく知っていただくことも重要です。

KIFU COFFEEさんを通じて1型糖尿病のことを知るきっかけになったり、応援の気持ちをいただくことは、私たち患者とその家族の大きな力になります

一最後に。
これから目指す未来やゴールを教えてください。－

私たちの当面のゴールは、1型糖尿病を「治らない」病気から「治る」病気にするのですが、究極の目標は「1型糖尿病の根絶（＝治療＋根治＋予防）」です。その日まで、1型糖尿病患者とその家族が不安や孤独を感じず、自分らしく生きられる社会をつくるために様々な活動を続けていきます。子どもも大人も、夢をあきらめずに生きられる未来を、一人でも多くの人と一緒に実現していきたいと考えています。

／おしえて！／

寄付のその先



売り上げの10%が日本IDDMネットワーク様への応援寄付につながるKIFUCOFFEE

皆さまからいただいた寄付は、1型糖尿病根絶に向けた研究助成、高額な患者医療費問題への対応、様々なセミナーの開催、社会への啓発活動などに活用させていただきます。

特に、治療法の確立に向けては、研究者の方々と連携しながら、基礎研究から臨床研究まで幅広く支援を行っていきます。

皆さまの応援が、確実に未来への一歩につながっています。

寄付先 団体紹介 日本IDDMネットワーク



■団体への直接寄付
<https://japan-iddm.net/support/fund/>

活動の詳細は団体ホームページをご覧ください。



寄付は応援や共感のひとつの形。キフクリエイトが行うプロジェクトは1割が寄付につながります。